

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載

【部門区分】第1部門第1区分

【発行日】平成18年5月11日(2006.5.11)

【公表番号】特表2002-513552(P2002-513552A)

【公表日】平成14年5月14日(2002.5.14)

【出願番号】特願2000-547102(P2000-547102)

【国際特許分類】

C 1 2 N	15/09	(2006.01)
A 6 1 P	1/00	(2006.01)
A 6 1 P	11/00	(2006.01)
A 6 1 P	11/06	(2006.01)
A 6 1 P	29/00	(2006.01)
A 6 1 P	35/00	(2006.01)
A 6 1 P	37/02	(2006.01)
A 6 1 P	37/06	(2006.01)
A 6 1 P	43/00	(2006.01)
C 0 7 K	14/47	(2006.01)
A 6 1 K	38/00	(2006.01)

【F I】

C 1 2 N	15/00	Z N A A
A 6 1 P	1/00	
A 6 1 P	11/00	
A 6 1 P	11/06	
A 6 1 P	29/00	1 0 1
A 6 1 P	35/00	
A 6 1 P	37/02	
A 6 1 P	37/06	
A 6 1 P	43/00	1 1 1
C 0 7 K	14/47	
A 6 1 K	37/02	

【手続補正書】

【提出日】平成18年3月15日(2006.3.15)

【手続補正1】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】特許請求の範囲

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項1】配列番号2で示されたアミノ酸配列に対して70~100%の相同性を有するアミノ酸配列を含み、タンパク質A20と相互作用することができ、及び/あるいはNF-Bの活性化を調節及び/又は阻害することができ、かつNef関連因子1ではない、単離されたタンパク質。

【請求項2】配列番号3で表された配列番号2のアミノ酸54~647に対して70~100%の相同性を有するアミノ酸配列を含み、タンパク質A20と相互作用することができ、及び/あるいは、NF-Bの活性化を調節及び/又は阻害することができる、単離されたタンパク質。

【請求項3】配列番号8で表された配列番号2のアミノ酸420~647に対して70~100%の相同性を有するアミノ酸配列を含み、タンパク質A20と相互作用する

ことができ、及び／あるいは、N F - B の活性化を調節及び／又は阻害することができる、単離されたタンパク質。

【請求項 4】 配列番号 5 で表されたアミノ酸配列に対して 70 ~ 100 % の相同性を有するアミノ酸配列を含み、タンパク質 A 20 と相互作用することができる、及び／あるいは、N F - B の活性化を調節及び／又は阻害することができる、単離されたタンパク質。

【請求項 5】 配列番号 6 及び／又は配列番号 7 で表された共通アミノ酸配列を含む、請求項 1 ~ 4 いずれか 1 項記載の単離されたタンパク質。

【請求項 6】 請求項 1 ~ 5 いずれか 1 項記載のタンパク質をコードする核酸。

【請求項 7】 配列番号 1 で表された D N A 配列に対して約 70 ~ 100 % の相同性を有する、請求項 6 記載の核酸。

【請求項 8】 配列番号 4 で表された D N A 配列に対して約 70 ~ 100 % の相同性を有する、請求項 6 記載の核酸。

【請求項 9】 タンパク質 A 20 と相互作用することができ、及び／あるいは、N F - B の活性化を調節及び／又は阻害することができる、医薬として使用するための、請求項 1 ~ 5 いずれか 1 項記載の単離されたタンパク質及び／又はその機能的断片。

【請求項 10】 タンパク質 A 20 と相互作用することができ、及び／あるいは、N F - B の活性化を調節及び／又は阻害することができる、呼吸器障害、同種移植拒絶、慢性炎症性疾患、敗血症性ショック、アルツハイマー病、アテローム性動脈硬化症、癌及び又は自己免疫疾患を処置するための医薬の製造のための、請求項 1 ~ 5 いずれか 1 項記載の単離されたタンパク質及び／又はその機能的断片の使用。

【請求項 11】 呼吸器障害が成人呼吸困難症候群であり、慢性炎症性疾患がリウマチ様関節炎、喘息、又は炎症性腸疾患であり、そして自己免疫疾患が全身性エリテマトーデスである、請求項 10 記載の使用。

【請求項 12】 該タンパク質が、配列番号 2 のアミノ酸 54 ~ 647、好ましくは 390 ~ 647 を少なくとも含む、請求項 10 又は 11 項記載の、タンパク質 A 20 と相互作用することができ、及び／あるいは、N F - B の活性化を調節及び／又は阻害することができる、単離された機能的タンパク質及び／又はその機能的断片の使用。

【請求項 13】 該タンパク質が、配列番号 2 のアミノ酸 420 ~ 647 を少なくとも含む、請求項 12 記載の、タンパク質 A 20 と相互作用することができ、及び／あるいは、N F - B の活性化を調節及び／又は阻害することができる、機能的タンパク質及び／又はその機能的断片の使用。

【請求項 14】 請求項 1 ~ 5 いずれか 1 項記載の、タンパク質 A 20 と相互作用することができ、及び／あるいは、N F - B の活性化を調節及び／又は阻害することができる、機能的タンパク質及び／又はその機能的断片の、該タンパク質と N F - B 関連経路の他のタンパク質成分との相互作用を妨害する化合物をスクリーニングするための使用。

【請求項 15】 請求項 14 記載のタンパク質の使用を含む、化合物をスクリーニングする方法。

【請求項 16】 請求項 1 ~ 5 いずれか 1 項記載の、タンパク質 A 20 と相互作用することができ、及び／あるいは、N F - B の活性化を調節及び／又は阻害することができる、1 つ以上の単離された機能的タンパク質及び／又はその機能的断片並びに薬学的に許容し得る担体物質を含む、薬学的組成物。